



©Yuki Asada

小さな農園育ち、アフリカの黒真珠

アフリカ最高峰キリマンジャロ山を望む東アフリカの大国、タンザニア。ここにはキリマンジャロのほかにも、極上のコーヒーを生み出す町がある。

タンザニア北部、ビクトリア湖西岸に位置するブコバの町は、昔からコーヒーの名産地として知られている。ゆでたコーヒー豆が定番のおつまみとされるほど、人々の生活に浸透しているのだ。この地域では、「手と目の届く範囲」の小規模農園で、今も昔と変わらず無農薬・有機栽培でコーヒー豆を育て、手摘みしている。

株式会社バラカが輸入するのは、そんな上質な豆だけで作られる、ぜいたくなインスタントコーヒー「カフェアフリカ・バラカ」だ。同社の品選びの根底には、安い

原材料ではなく付加価値の高い加工品を輸入することで、タンザニア経済の発展に寄与したいという島岡強会長の思いがある。今ではコーヒーのほか、紅茶や芸術品など、取り扱う品目の幅も広がった。

営業部長の安齋晃史さんは、「アフリカ」というと戦争や貧困のイメージが強いようですが、現地で作られた製品を通じて、日本の方々にもアフリカ文化に関心を持ってほしいんです。それが、同時に現地社会のためになればと思います」と話す。

収益金の一部は、タンザニアの子どもたちの文房具や芸術家の支援、柔道をはじめとするスポーツの活動支援などに使われ、現地で笑顔を呼んでいる。



自然農法で大切に育て上げた良質な豆は、農家の自慢。豊かな香りとコクを生み出す

- ★以下の品をそれぞれ1人にプレゼント！
 - ・タンザニア産のコーヒーとスパイスのセット
 - ・タンザニア産の紅茶とコニャギ(お酒)のセット
 - ・タンザニア産の手織りストール
 - 詳細は38ページへ
- ★商品は「バラカ」オンラインショップ (<http://africafe.shop-pro.jp/>)でも購入可能。

